

平成26年10月29日(水)

## 障害者雇用促進セミナー 支援者報告

---

～精神障がいの特性を踏まえた就労支援～

医療法人社団 原クリニック  
仙台メンタルヘルスサービス  
就労移行支援事業部

1

## 医療法人社団 原クリニック 概要

- 所在地:宮城県仙台市青葉区昭和町2-25
- 設立:1988年9月 開院
- 事業内容:
  - \* 診療部門(精神科)
  - \* 地域医療部 \* カウンセリング
  - \* デイケア \* ナイトケア
  - \* 障害福祉サービス事業所  
仙台メンタルヘルスサービス  
(就労継続B・就労移行支援)
- ◆関連事業
  - \* 一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ
  - \* 日本精神科診療所協会こころのケアチーム

2

## 障害福祉サービス事業所 仙台メンタルヘルスサービス

多機能型 定員40名 (平成18年12月1日 開設)

■就労継続支援B型  
(既存の精神障害者小規模作業所から移行)

- ・ 昭和町 10名→20名
- ・ 雨宮 10名
- ・ みなみ 10名→0名

} 定員30名

■就労移行支援(新規設立。メンバーも別途募集)

- ・ 就労移行支援事業部 定員10名

3

## 当就労移行支援事業所 利用者の状況(平成26年10月現在)

人数	平均年齢(才)	訓練期間(月)	疾患別	人数	
男	7	35	8か月	統合失調症	3
女	0	—	—	強迫性障害	2
計	7	35	8か月	広汎性発達障害	1
				反復性うつ病性障害	1

4

## 精神しょうがい特性

- ・ 不安・・・過去の失敗体験・社会からの偏見
- ・ 一人で悩みを抱えてしまう
- ・ 一歩踏み出すまでに、時間がかかる

- \* 環境適応の困難さ
- \* 認知のしょうがい
- \* 陰性症状としての意欲の低下
- \* コミュニケーションの困難さ
- \* 社会経験の不足(二次的なしょうがい)
- \* 汎化しにくい

現実検討が必要

訓練を通して本人と支援者が共有!

5

## 基礎実習・職場実習・求職活動

希望

ズレ

実際

長く安定して働きたい!  
事務職に就きたい!

毎日通所できない  
指示が分からない

現実検討

課題設定

実習

振り返り

課題の整理

※心理テストの結果も参考に

6

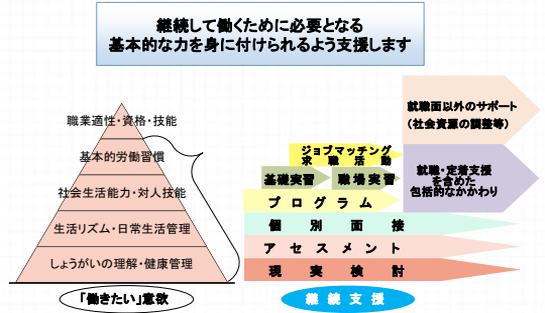
## スタートのきっかけ作り

<b>デイケア・継続B型の利用</b> 「出来なかったことが、できる様になった！」 ⇒ 自信 「次は働いてみたい！」 ⇒ 自ら目標設定	<b>デイケアと共通のプログラムを利用</b> 「就労移行は、こんなことしてるんだ！」 ⇒ イメージのしやすさ 「デイケアOBと一緒に」 ⇒ 安心感・馴染みややすさ	<b>医療や家族との連携</b> 「チャレンジしてみたら？」 ⇒ 後押し 「大丈夫だよ」 ⇒ 見守り
---	--	--

- \* 生活リズム、体力等の準備性がまだ十分に整わない方
- \* 一歩踏み出したいが、不安のある方
- \* 「就労」というキーワードに興味のある方  
...など、幅広く受け入れている

7

## 訓練の目的と流れ



8

## プログラム ~精神しょうがいの特性に合わせて~

<b>健康管理</b> <b>体質改善プログラム</b> ・自分の体に目をつける ・食生活の見直し、運動 <b>リラクゼーションプログラム</b> ・体の状態を知る(産労員会) ・気持ちと体のほくし方を知る	<b>基本的な労働習慣の修得</b> <b>外部講師の講義</b> ・電話応対、姿勢、お辞儀の仕方 ・ビジネスマナーの修得 面接の練習、履歴書の書き方 <b>職場見学、職場体験、実習</b> ・挨拶・報告・連絡・相談
<b>リフレッシュ</b> <b>スポーツプログラム</b> (卓球、テニス等) ・ストレス発散 ・仲間との交流 ・運動不足解消	<b>考えを広げる</b> <b>SST</b> ・職場での基本的コミュニケーションの練習 <b>グループミーティング</b> ・余暇の過ごし方、目標・体調の確認 <b>ジョブトーク</b> ・1人で悩まず、皆の意見を聞く <b>ピア</b> <b>OB・OG会</b> (カラオケ、茶話会等) ・季節行事⇒幹事、会計等の役割体験 ・楽しみ ・仲間との交流 ・働いている人の話を聞く⇒イメージ作り

## 雇用定着支援 ~当事業所の取り組み~

<b>集中支援期</b> ・ジョブコーチが同行し、業務・指示系統の確認などを共に行い、職場環境へのスムーズな適応を目指す。
<b>定着支援期</b> ・本人の職場における自立度、職場環境への適応の様子に合わせ、職場におけるジョブコーチの支援を計画的に減らしていく。
<b>フォローアップ期</b> ・職場の方の援助を中心に、本人の職場における自立度が高まることを目指す。本人の職業生活の支援を継続して行う。

10

## 支援内容① 具体的なイメージ作り

- きっかけ: 雇用前見学会に他メンバーが参加  
(仙台市障害者就労支援センター主催)
- 本人の**特性**に仕事内容がマッチ
    - ・手先が器用 早くて正確
    - ・反復単純作業が得意
    - ・コミュニケーションが苦手
    - ・不特定多数の人が出入りする環境がストレス
  - 本人に雇用前実習参加を打診

見学时に写真を撮ってくる ⇒ 視覚的に捉えられる  
メンバーの体験を聞く ⇒ 安心感

11

## 支援内容② 雇用前実習・採用面接同行

- 〈実習〉  
 業務内容の確認  
 指示系統の確認  
 環境面・・・ 人的(職場の方・同僚・人の出入り)  
 物的(車通勤)
- 〈面接〉  
 安心感  
 補足事項

12

### 支援内容③ 雇用～1か月

職場の本人に対する期待度↑  
(実習と雇用後のギャップ)  
職業人としての心構え

プレッシャー→→→

↓

就労支援センター・他事業所支援者と共に訪問  
(改めて障害特性や対応など説明の機会を頂く)

反省点: 一緒に作業する現場の方への説明不足

### 支援内容④ 定着支援

- 個人面接(月1回)  
業務面、生活面、体調の確認
- 欠勤時対応  
本人からの聞き取り→連絡調整(職場・主治医)
- 職場訪問・振返り(隔週→月1回→2ヶ月に1回)  
状況把握・調整
- 事業所プログラム・OB会参加  
リフレッシュの場として
- 家族からの聞き取り

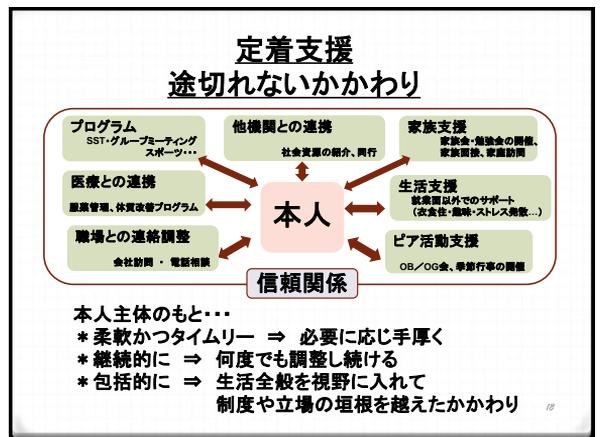
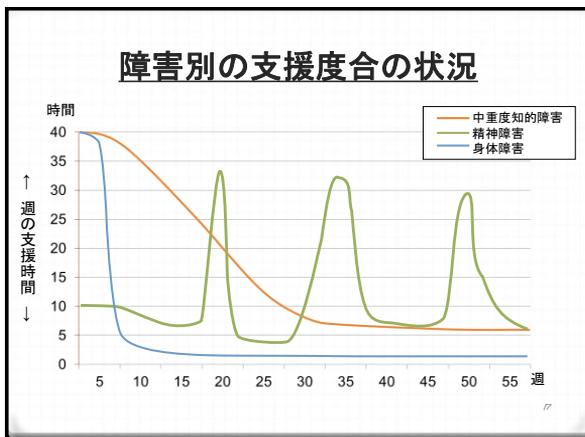
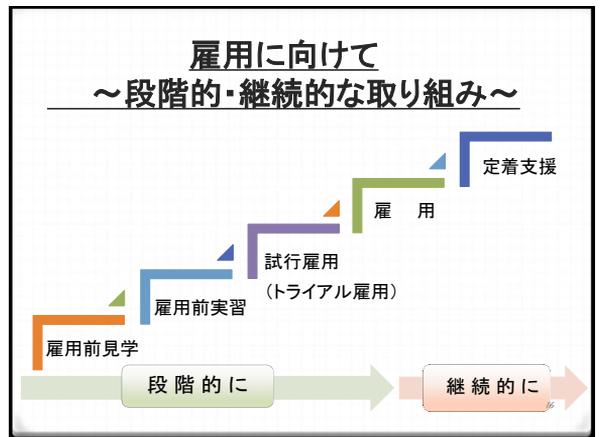
### 精神障害を持つ方の特性

環境に慣れるまでに時間がかかる  
はじめは疲れやすくストレスを感じやすい  
スピーディーに作業することが難しい  
緊張しやすく、コミュニケーションが苦手

しかし、  
徐々に職場環境に慣れる ⇒ **段階的な支援**  
就職後も、定期的な訪問・面接を行う ⇒ **継続的な支援**

↓

**改善が十分可能**



。。。ご清聴ありがとうございました。。。  
14